



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>

令和7年度 第3号

校長 猪又 雅広

令和7年6月30日



熱中症の対応について

近年、大都市部を中心として、気温が30℃を超える状況の長時間化と範囲の拡大、熱帯夜の出現日数の増加といった高温化の傾向がみられ、日常生活環境における熱中症が問題となっています。そこで熱中症の対応について説明します。市川市では千葉県教育委員会から出されている「学校における熱中症対策ガイドライン」に沿った対応となります。以下はガイドラインより抜粋したものです。

表 2-1 暑さ指数（WBGT）に応じた注意事項等
（出典：環境省夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン 2020 を一部改変）

暑さ指数（WBGT）	湿球温度	乾球温度	注意すべき活動の目安	日常生活における注意事項	熱中症予防運動指針
35以上 熱中症特別警戒アラート発表 いのちを守る行動を取る★1					
33以上 熱中症警戒アラート発表 運動中止★2					
31以上	27℃以上	35℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止★3 特別の場合 以外は運動を中止する。特に幼児児童生徒の場合は中止すべき。
28～31	24～27℃	31～35℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	嚴重警戒（激しい運動は中止） 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
25～28	21～24℃	28～31℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒（積極的に休憩） 熱中症の危険度が増すので積極的に休憩を取り適宜、水分、塩分を補給する。激しい運動では30分おきくらいに休憩をとる。
21～25	18～21℃	24～28℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意（積極的に水分補給） 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

【体育、スポーツ活動時の対応】

授業や活動前にグラウンド・体育館などの活動場所で暑さ指数（WBGT）を活動前に測定し、対応を判断します。また、熱中症警戒アラート・特別警戒アラート発表時には測定頻度を増やし、暑さ指数（WBGT）の変化に十分留意します。部活動では、上位大会につながる総合体育大会等、日程の都合上、上記の注意事項通りにならない場合もあります。

【グラウンドで実際に計測している様子】

そこを考慮して各競技の専門部では大会日程を延長して1日の試合数を減らして暑い時間帯に試合をしない、給水タイムを取る、エアコンの効いた部屋を用意して救急体制を整える等の対応をとって生徒の安全と競技の継続の両立を図っています。（注意事項通りにな



らない場合の対応も千葉県教育委員会ガイドラインに記載があり、それに準じた対応をします。)

【学校生活全般の対応】

登下校の対応として、体操服登校を可とし、体操服の上着をしまうのは生徒の判断といたしました。あくまでも暑さ対策が目的なのでジャージ登校は暑さ対策ではないため、不可となります。また試験等のある日は正装で試験に臨むということが目的となるため制服登校になることがあることをご承知ください。

授業中等学校生活において体操服登校が可能な期間は、教科や活動の特性を踏まえて特に指示がない限り、体操服の上着をしまうかどうかは生徒の判断といたします。

～令和7年度第1回学校運営協議会6月17日開催～

【学校運営協議会制度の目的】

これからの公立学校は「開かれた学校」から更に一步踏み出し、地域でどのような子どもを育てるか、何を実現していくかという目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが目的で設置されました。

例年、この時期に第1回目を開催して、学校運営方針等について承認していただくと共に意見をいただいております。なお協議会のメンバーは国府台高等学校の校長先生に長をしていただき、えのきの会会長、同窓会長、元PTA会長、自治会長等の皆様が市川市から委嘱されてなっております。

【学校長より挨拶】

本日は、平日の日中という時間帯にお集まりいただきありがとうございます。3年生は5月22日(木)～24日(土)修学旅行、そして、その2週間後、6月6日(金)体育祭と短期間に大きな行事2つに取り組んできました。さすが上級生という姿勢で臨んでくれました。体育祭では生徒会長から生徒主体で体育祭を創り上げてきたという話がありました。今年度はその言葉通り、生徒主体の学校づくりに取り組んでまいります。本日はよろしくお願いします。

【今回出された意見(抜粋)】

- ・本校の生徒は穏やかな環境で育っている。自分で判断できる力をつけさせてほしい。
- ・教員が余裕を持ってほしい。教える側にゆとりがないとダメなので働き方改革を進めてもらいたい。
- ・教員の生徒に対する関わり方が数年前と変わって丁寧になった。

【地域からの情報】

- ・コミュニティクラブ主催行事予定

お化け屋敷 8月24日(日)【市川小】 こうのとり祭り 9月13日(土)【国府台小】

ペットボトル製作教室&発射大会 11月22日(土)【一中・筑波】

ペットボトル製作教室&発射大会 2月11日(水・祝)【中国分小】

※学校としてこれから生徒へ地域行事のボランティア活動への参加を推奨していきます。ご家庭でもご理解

・ご協力をお願いします。

【最後に】

学校として、生徒主体の学校づくりを進めてまいります。また学校経営方針の目指す学校像にあります、「生徒、保護者、教職員が誇りに思える学校」にするために生徒たち自身が誇りに思えるとはどういうことかを当事者として考えてもらい、その意見を学校経営に反映させて自分の行動に責任を持てる子どもたちを育てていきたいと考えています。

どうしても教員がルールを引いている部分がまだまだあります。この点を改善して子どもたちが自分の行動を決めて成功や失敗を経験しながら成長してほしいと思います。そして一中を卒業する時によかったと誇りに思える教育活動を展開していきます。そのために地域の皆様のご支援・ご指導を今後共よろしくお願いします。